

分科会開催報告書						
報告日 令和7年12月26日		報告者 西村康枝				
分科会名 浮雲俳句会		開催テーマ 第202回浮雲俳句会				
開催日時 令和7年12月21日(日)午前10時～12時		開催場所 いきいきセンター 晴嵐かなざわ				
参加人数	浮雲俳句会会員 9名					
実施内容						
第202回例会は、兼題「冬」の1句、当季雜詠3句、合計4句。						
句会は、祥代会員による選句の披講後、会員各々が選んだ特選句の選評、続いて特選に選ばれた作者のコメント。						
月当番による合評後、意見・質問・添削等活発な意見交換がなされた。						
「第202回 合評・ランクアップ添削の一例」について学習。						
出席者全会員により、特選句7句を選ぶ。						
特選句						
縁り言をそっと飲み込む寒夜かな		一 翁				
老いたりな夏炉冬扇の年暮るる		十 九				
冬晴れや皇帝ダリア天を衝く		重 九				
北国の苦惱よそめの日向ぼこ		二 点				
断崖に微動だにせぬ残り鶯		和 女				
野の地蔵何思い聞く除夜の鐘		十 九				
木の葉散る杜の装ひ七つ色		重 九				
次回の予定						
令和8年1月25日(日) 午前10時～12時						
第203回句会は、いきいきセンター晴嵐かなざわ						
投句は4句。兼題は「正月(お正月)」の1句、他に当季雜詠3句。						
披講 栄子会員						